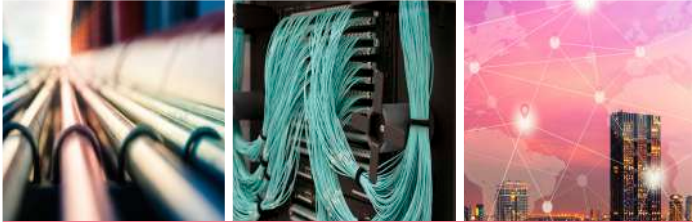


日本語版



RCDD Certification Handbook

Bicsi[®]
RCDD

Version 14

RCDDの資格取得を決意された皆様にメッセージをお送りいたします。今、世界的に認知され業界内で高く評価されている通信配線設計の認定資格を取得するステップをご紹介します。

熱意あるICT（情報通信技術）の専門家である皆様は、BICSI資格の取得がご自身のキャリアやICT業界の向上につながることをご存じでしょう。RCDD®（Registered Communications Distribution Designer®）の資格を取得すれば、最先端の通信配線設計に精通した経験豊富なエリートプロフェッショナルとして認められます。RCDDを取得し、専門家として更に上のグローバルスタンダードを体現しようとすることは素晴らしいことです。

BICSIは、ICT分野の専門的スキルを認証する最高品質の資格プログラムの提供を通じて、個人と組織の継続的な成長に貢献しています。

BICSIは、このプログラムが最新の情勢を反映し、激しい競争下にある現代のビジネス環境に確実に直結するために、世界中のICTの専門家と緊密に協力しています。

このハンドブックでは、受験要件および更新要件を含む、RCDD試験の詳細についてご案内いたします。

皆様が資格を取得し、活躍されることを心よりお祈りしております。



Todd W. Taylor, RCDD, NTS, OSP
BICSI President



John H. Daniels, CNM, FACHE, FHIMSS
BICSI Executive Director & Chief Executive Officer

Webサイト：
bicsi.org/credentialing

お問い合わせ：

米国本部

TEL：+1 813-979-1991または
800-242-7405

E-mail：credentialing@bicsi.org

日本支部

TEL：03-3524-8488

E-mail：credential@bicsi.jp

目次

BICSIとRCDD認定資格について	4-6	フェーズ4：試験	17-19
RCDDの定義	4	特別な配慮に対する要望	17
RCDDとは	5	特別な配慮に対する要望の却下への異議申し立て ...	17
RCDD資格取得と更新プロセスの概要	5	予定の立て方	17
試験配信会社について	6	予約日の変更またはキャンセルに関するポリシー ...	17
差別撤廃方針	6	受験料	18
制裁対象国	6	受験者の身分証明書と行動要件	18
お問い合わせ先情報	6	守秘義務.....	19
受験者の連絡先情報	6	合格点	19
		結果	19
		再受験申請.....	19
		試験問題へのコメント	19
RCDD資格取得プロセス	7-22	フェーズ5：資格の更新	20-22
5つのフェーズ.....	7	ステータスの定義	20
RCDD (Registered Communications Distribution Designer)の範囲.....	7	RCDD資格登録期間.....	20
フェーズ1：受験資格	7-9	更新要件.....	20
資格要件.....	7	更新料	21
詳細と具体例.....	8	資格更新の監査	22
RCDDを取得する理由.....	8		
RCDDの活躍	9	RCDD資格の取得後	23-24
GI Billに関する情報	9	称号の使用.....	23
U.S. Military Tuition Assistance Program	9	RCDDスタンプ.....	23
フェーズ2：準備	10-14	有資格者名の公表	23
RCDD V14試験の範囲	10-14	記録の保持.....	23
試験の著作権	14	資格者証の額縁	23
推奨される学習法	14	資格停止ポリシー	24
試験の形態.....	14	資格の回復に関するポリシー	24
フェーズ3：申請	15-16		
申請プロセス	15	ポリシーおよび規定	25-26
申請の手続き	15	倫理規定.....	25
料金	15	職務上の義務.....	25
支払い方法.....	15	BICSIの認定資格に関する異議申し立てプロセス	26
申請の不備.....	16	独占禁止法に関する声明.....	裏表紙
申請の却下.....	16		
返金方針.....	16		
氏名	16		
受験資格有効期間	16		
待機期間.....	16		
遵守事項.....	16		

BICSIとRCDD認定資格について

BICSIは、ICT（情報通信技術）の専門職の発展を支援している団体であり、現在26,000人以上の会員と資格の保有者を擁しています。

BICSIは世界につながるための卓越したリソースです。

米国のフロリダ州タンパに本部を置き、BICSI会員の国籍は、約100か国に及びます。

ICTには、通信機器および情報端末の間で行われる情報と付帯する信号の伝送を支える配線経路、配線スペース、光ファイバー配線およびメタル配線による通信分配システム、ワイヤレスシステムおよびインフラストラクチャーの設計、管理、統合、施工が含まれます。

BICSIのスタッフとボランティアは、トレーニング、カンファレンス、刊行物、資格プログラムを通じて、ICTプロフェッショナルが重要な製品やサービスを提供することを支援し、継続的にプロフェッショナルとして成長する機会を提供しています。

BICSIは、専門領域におけるICTの設計または導入の知識を個人が有することを、業界および消費者に対して一定レベルで保証するために、独自の資格認定プログラムを提供しています。

BICSIの専門資格は世界的に評価されており、ICT業界全体で認められています。

RCDD (Registered Communications Distribution Designer)は、1984年に制定され、BICSIが認定する資格において、最も権威のある資格として位置づけられています。RCDDを取得した技術者は、通信の領域における構築、計画、統合、実行、および緻密なプロジェクト管理に関する知識を備えていることとなります。

RCDDの定義

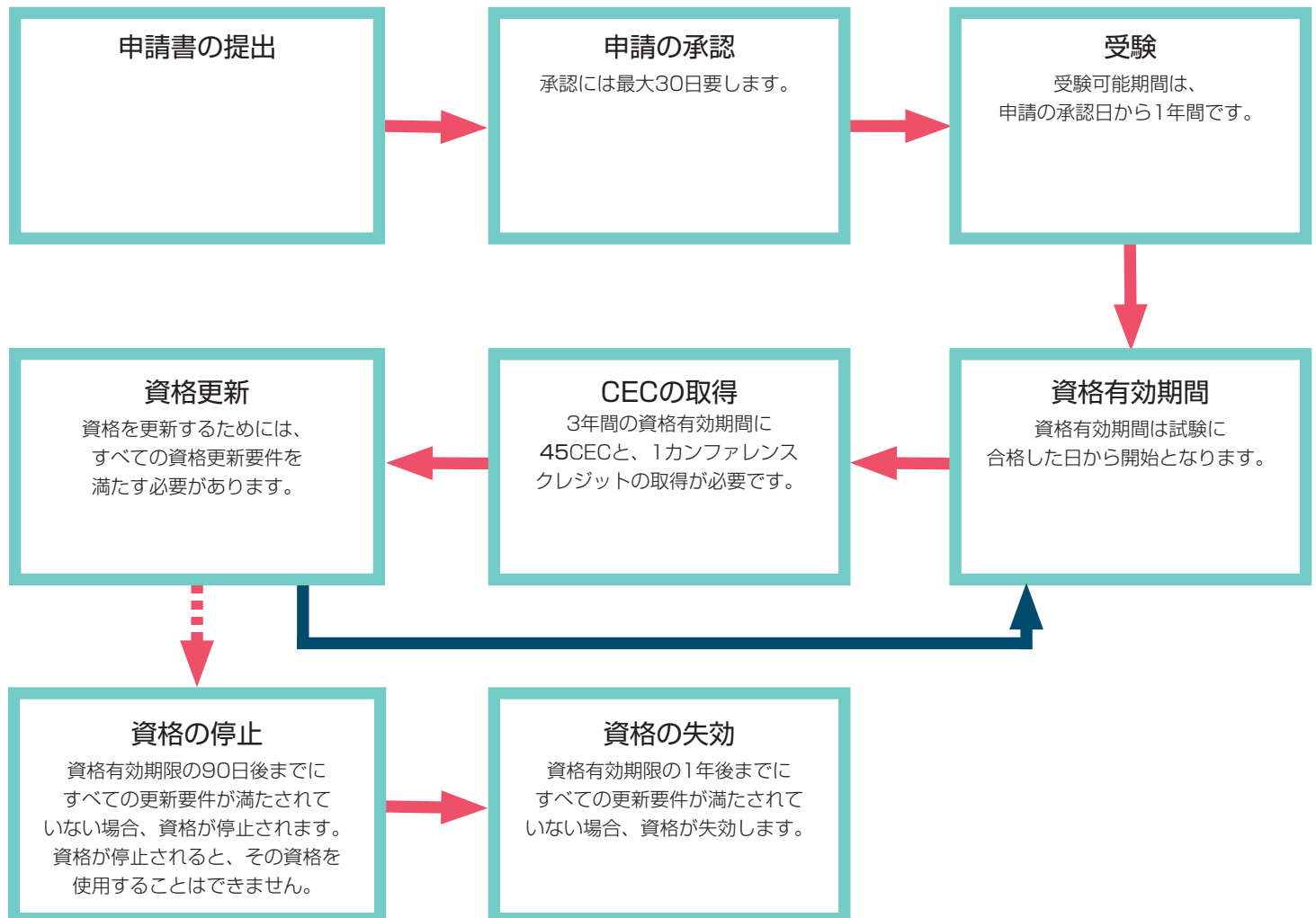
ICT/Distribution Designとは、ICT（情報通信技術）の構築、計画、統合、実行、および緻密なプロジェクト管理を指します。



RCDDとは

ICT分野における最高峰の称号	信用を高める
ICT業界およびICT企業からの高い認知	世界的な認知
入札要件および職務要件への要求に対応	エンジニアのさらなる成長を実現
最新テクノロジー、手法、ベストプラクティスを活用	あらゆる標準規格に合致
キャリアアップへの扉を開き新しい機会を導く	

RCDD資格取得と更新プロセスの概要



試験配信会社について

本試験の配信会社はPearson VUEです。Pearson VUEは、世界中に35,000人以上の従業員を擁する世界最大の教育ソリューション企業です。Pearson VUEはCBT (computer-based testing) 業界のトップ企業であり、世界各地に試験センターを設けています。

差別撤廃方針

BICSIおよびPearson VUEは、いかなる個人も、性別、民族的出自、国籍、宗教、年齢、または身体的障害を理由にBICSI RCDD資格プログラムに参加する機会を奪われてはならないという方針に従っています。

制裁対象国

BICSIは、米国務省海外資産管理局 (OFAC) 制裁プログラム、国家情報、特定国籍 (SDN) および規制人物リストを遵守して事業活動を行うことにコミットしています。ここには、イラン、シリア、クリミア、キューバ、北朝鮮を居住地または国籍とする個人が含まれます。

受験手続きの際に非制裁国の永住権を示す本人の身分証明書を提示できる個人のみが受験し、資格を取得できます。

詳細については、[ここをクリックしてください](#)。

お問い合わせ先

BICSI RCDD資格プログラムに関するお問い合わせは、以下宛てにお願いします。

BICSI, 8610 Hidden River Parkway, Tampa, Florida 33637

電話：+1 813-979-1991または800-242-7405

メール：credentialing@bicsi.org

試験の日程に関する質問および情報要求は、以下宛てにお願いします。

Pearson VUE, 5601 Green Valley Drive, Bloomington, Minnesota 55437

電話：866-904-4432

ウェブサイト：pearsonvue.com/bicsi

ウェブサイト (オンライン試験)：pearsonvue.com/bicsi/onvue

受験者の連絡先情報

BICSIは、重要な情報をメール、テキストおよび郵便で受験者に送付します。受験者は、BICSI米国本部ウェブサイト**bicsi.org**のUser Profileに登録されている連絡先情報を、最新の状態に保つ責任を有します。



RCDD資格取得プロセス

5つのフェーズ



RCDD® (Registered Communications Distribution Designer)のスコープ

RCDDは、通信分配システムの設計、設計に従った施工の監督、設計チームとの業務を調整、ICT（情報通信技術）ソリューションを支える完成した通信分配システム全体の品質を評価します。

定義

設計とは、ICT（情報通信技術）システムの配置と機能を示すための要件の定義、構築、計画に関する図面と文書を制作することです。

監督とは、構築プロセス全体を通じて通信分配システム設計を基に観察し、監視することです。

調整とは、複数のベンダー、業者、設計チーム、利害関係者と連絡を取り、設計上の要件を効果的に満たすことです。

評価とは、設計の要件と意図に沿った通信分配システムの施工の品質と完成度を検証することです。

フェーズ1：受験資格

資格要件

申請者がRCDD試験の受験を申請するためには、以下のいずれかの要件を満たしている必要があります。

1：ICT設計における2年間の証明可能な常勤の実務経験があり、かつ、BICSI TECH™、RTPM®、DCDC®またはOSP™として現役のBICSI資格保有者であること。

2：ICT設計における2年間の証明可能な常勤の実務経験があり、かつ、ICTに関する2年間の高等教育の学習課程を修了していること。ICTに関する2年間の高等教育の学習課程には以下が含まれます。

- 科学・技術・工学・数学または職業の専門学校
- ICTおよび業界関連のプログラム、実習、または認定資格
- 2年制の学位
- 軍隊での訓練に相当するもの

高等教育学習課程の修了証明には以下が含まれます。

- 認定証
- 高等教育機関発行の書類
- 卒業証書
- その他の真正な書類

3：5年間の証明可能なICTの経験

詳細と具体例

ICT設計に関連する実務経験には以下が含まれます。

- ユーザーの要件とニーズの分析
- 現場調査
- 運用要件、基本設計または概念設計の作成
- 設計者、技術士（PE）、管轄当局（AHJ）、ベンダー、業者、設計チーム、利害関係者との調整
- 規格、規則、AHJの要求事項の確認と遵守
- 以下の書類の審査または作成
 - 提案依頼書（RFP）
 - 見積依頼書（RFQ）
 - 作業範囲記述書（SOW）
- 詳細設計、仕様書、図面には以下が含まれます。
 - 構造化配線システムおよび配線経路
 - ラックの配置図およびレイアウト図
 - 接地およびボンディングシステム
 - 通信スペース
- プロジェクトの文書には以下が含まれます。
 - 設計図面
 - プロジェクト仕様書
 - 部品表（BOM）
 - 入札書類と入札価格の設定
 - 記録図（竣工図）
- 導入プロセスの支援と評価

高等教育学習課程の修了証明には以下が含まれます。

- 認定証
- 卒業証書
- 高等教育機関発行の書類
- その他の真正な書類

At several points in my career, the RCDD has been a requirement for the position. With this designation, I am immediately brought to the top of the list of potential candidates.

– Bob Ellis, RCDD, DCDC,
Project Design Engineer,
Johnson Controls, Inc. –
Building Wide Systems Integration,
Townsend, Massachusetts, USA

ICTの学位または学習課程の例には、以下が含まれます。

- 電気
- 工学技術
- コンピューター科学
- 通信
- 情報システム
- ネットワークシステム
- 自動制御システム
- ネットワークおよび通信管理
- ITを専門とする管理/技術管理
- セキュリティシステム

提出された学位や教育課程は、業務遂行能力の分析との関連性に基づいて評価され、適格性を判断されます。

RCDDを取得する理由

専門家としてのイメージ向上

昇給の可能性

ICTコミュニティにおける認知

ICTキャリアの拡大

雇用と昇進の機会

RCDDの活躍

RCDDは、以下の団体によって確立、制定された規格を含む、最新の規格およびベストプラクティスに従って品質と業績を向上させる能力を備えています。BICSI, Telecommunications Industry Association (TIA), American National Standards Institute (ANSI), National Electrical Contractors Association (NECA), American Institute of Architects (AIA) and Construction Specifications Institute (CSI)

RCDDは、ネットワーク、屋外配線設備、無線、電子的なセキュリティの設計、データセンター、建物オートメーションシステム (BAS) など、構造化配線システムに含まれる幅広い分野で技能を発揮することが求められています。RCDDは、この幅広い知識に基づいて、適切なIT、AVおよびセキュリティの要件について、プロジェクトオーナーまたはエンドユーザーに助言することができます。RCDDは、施工図および仕様書の作成など、これらのシステムに関連する設計業務の実行方法を習得しています。

The U.S. Courts Design Guide¹では、RCDDが配線経路と配線スペースを設計するよう求めています。The U.S. Defense Department's Unified Facilities Criteria (UFC)-Telecommunications Building Cabling Systems Planning and Design²およびthe Army's Technical Criteria for the Installation Information Infrastructure Architecture³では、いずれも、RCDDが設計業務を実施するよう要求しています。


アラブ首長国連邦のアブダビ国際空港の拡張工事⁴では、現場試験監督がRCDDであること、およびケーブル施工業者がRCDDを社員として雇用していることが要求されました。

¹ U.S.Courts Design Guide, Judicial Conference of the United States, 2007 (with 2008 revisions), Chapter 15:Building Systems, Communications Systems section, p. 15-15.

² UFC-3-58-01, 01 June 2016, Chapter 2 - Design Requirements, p. 3.

³ Department of the Army—United States Army Information Systems Engineering Command—Fort Huachuca, Arizona 85613-5300, Technical Criteria for the Installation Information Infrastructure Architecture, Chapter 2.0 - Building Telecommunications Cabling Systems (BCS) Specifications, p. 2.

⁴ Contract:Midfield Terminal Building - General Contractor, WBS 1.2.3.3 Tender Document:Volume 3 of 4, SPECIFICATIONS Book 12 of 24 - Division 27 - January 2011.



I honestly don't know where I would be today had I never discovered BICSI or taken advantage of all the training classes and certifications, especially the RCDD. Thanks to BICSI, my family and I can relax and enjoy my retirement and financial security.



– Terry Colegrove, RCDD, NTS, OSP, WD, Retired, Communication Infrastructure Designs, Inc., St. Charles, IL, USA

GI Billに関する情報

受験者は、BICSI RCDD試験がGI Billによる援助金の対象となる場合があります。VAは試験費用のみ、または1回の試験につき最大2,000米ドルまでの費用を支払います。受験者が支払い証明書をVAに提出した後に支払われます。受験者が試験に不合格となった場合でも、VAは試験費用を負担します。試験費用の援助金申請などの詳細については、BICSIウェブサイト bicsi.org/gibill をご覧ください。援助金を受ける場合も、BICSIの試験要件と再試験方針は適用されます。

U.S.Military Tuition Assistance Program

対象の米軍軍人は、Credentialing Opportunities On-Line Programを通じて、ICT関連の施工、設計、プロジェクト管理の経験をBICSI資格の取得に生かすことができます。世界的に認められているBICSIの資格プログラムは、ICT業界の専門家としての地位を確立し、需要の高い業界での生涯にわたるキャリアとして役立ちます。

4つの支援プログラムの詳細については、以下のサイトをご覧ください。 bicsi.org/COOL

フェーズ2：準備

RCDD V14試験の範囲

RCDD V14試験の範囲	試験に占める比率
ICT設計範囲の定義	10%
ICTソリューションの設計	66%
ICT入札プロセスのサポート	9%
ICT施工プロセスのサポート	15%
合計	100%

ICT設計範囲の定義	10%
クライアントのICT（情報通信技術）要件および何が要件の範囲内にあり、何が要件の範囲内でないのかを明確に理解するために実行すべき作業の範囲を特定する。	
最低限の性能仕様と法令遵守が保証されるように、管轄当局の適用される規則および規格、確立された優先順位に基づいてICTシステムを設計する。	
クライアントが求める性能や予算に沿ったICTプロジェクトに必要な情報を、プロジェクトオーナー（クライアント、企業など）に提供するために、作業範囲記述書に基づいてICTプロジェクトのコストを見積もる。	
クライアントが求める工程に沿ったICTプロジェクトに必要な情報を、プロジェクトオーナー（クライアント、企業など）に提供するために、作業範囲記述書に基づいてICTプロジェクトのスケジュールを見積もる。	
設計ソリューションを決定するために、必要に応じて現地調査を行い、記録文書を確認してICT設備の現状を評価する。	
ICTソリューションの設計	66%
具体的な範囲、制約、リスクおよび技術設計を含むICT設計プロジェクト文書を作成し、利害関係者（クライアント、施工業者）が、それを審査、承認、実施できるようにする。	
規格への準拠およびクライアント要件の満足が保証されるように、図面を確認し、プロジェクト利害関係者との調整を行ってICT通信スペースの位置およびサイズを決定する。	
システム間の相互依存性を確保し、施工業者間の干渉を回避するために、ICT設計を他の作業分野（電気、暖房・換気および空調 [HVAC] など）との間で調整する。	
規格への準拠およびクライアント要件の満足が保証されるように、ICTのワークエリアのアウトレット位置をプロジェクト利害関係者との間で調整する。	
設計が性能ベースの要件およびプロジェクト範囲に応じたクライアント要件を満たすことが保証されるように、ICTのワークエリアのアウトレット製品を指定する。	
設計が性能ベースの要件およびプロジェクト範囲に応じたクライアント要件を満たすことが保証されるように、ICT水平伝送メディアを指定する。	
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT水平配線経路を計算（容量決定）する。	

規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT水平配線経路の種別を指定する。
規格への準拠およびクライアント要件の満足を保証し、施工業者間の干渉を回避するために、ICT水平配線経路をプロジェクト利害関係者との間で調整する。
設計が性能ベースの要件およびプロジェクト範囲に応じたクライアント要件を満たすことが保証されるように、ICT屋外配線設備（OSP）のバックボーン伝送メディアを指定する。
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT屋外配線設備（OSP）のバックボーン配線経路を計算（容量決定）する。
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT屋外配線設備（OSP）のバックボーン配線経路の種別を指定する。
規格への準拠およびクライアント要件の満足を保証し、施工業者間の干渉を回避するために、ICT屋外配線設備（OSP）のバックボーン配線経路をプロジェクト利害関係者との間で調整する。
設計が性能ベースの要件およびプロジェクト範囲に応じたクライアント要件を満たすことが保証されるように、ICT構内のバックボーン伝送メディアを指定する。
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT構内のバックボーン配線経路を計算（容量決定）する。
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT構内のバックボーン配線経路の種別を指定する。
規格への準拠およびクライアント要件の満足を保証し、施工業者間の干渉を回避するために、ICT構内のバックボーン配線経路をプロジェクト利害関係者との間で調整する。
スペースと付帯設備が確保されるように、ICT通信スペースのシステム要件（サーバー、スイッチ、構内交換機 [PBX] など）を設計に組み込む。
クライアントが求めるシステム可用性が保証されるように、最小限の照明・機器の負荷、機器の位置、および予備電源のニーズの調整に必要なICT通信スペースの電気的要件についてプロジェクトの電気技術者に助言する。
クライアント要件および準拠する規則や規格に応じた、最低限の環境要求事項の調整に必要なICT通信スペースの暖房・換気および空調（HVAC）の要件についてプロジェクトの空調技術者に助言する。
設計が性能ベースの要件およびプロジェクト範囲に応じたクライアント要件を満たすことが保証されるように、ICT通信スペースの構造化配線システム（SCS）コンポーネント（パッチパネル、ラックなど）を指定する。
規格への準拠およびクライアント要件の満足が保証されるように、ICT通信スペースを設計する。
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT通信スペースの配線経路を計算（容量決定）する。
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT通信スペースの配線経路の種別を指定する。
規格への準拠およびクライアント要件の満足を保証し、施工業者間の干渉を回避するために、ICT通信スペースの配線経路をプロジェクト利害関係者との間で調整する。
プロジェクト範囲に応じて、プロジェクト利害関係者向けにICT設計文書（図面、仕様書、計算書など）を作成する。
規格および規則への準拠ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICT設計の評価（品質保証 [QA] など）をする。

承認を得てプロジェクトを遂行するために、プロジェクトオーナーと共にICT設計文書（図面、仕様書など）を確認し、必要に応じて修正する。	
プロジェクト利害関係者向けにICTの部品表/資材リスト（BOM/LOM）を作成する。	
規格および規則への準拠ならびにプロジェクト範囲に応じたクライアント要件の満足が保証されるように、ICTの接地、ボンディング、雷およびサージ保護の要件を指定する。	
規格および規則への準拠ならびにプロジェクト範囲に応じたクライアント要件の満足が保証されるように、ICTシステムの管理およびラベリングの要件を指定する。	
規格および規則への準拠ならびにプロジェクト範囲に応じたクライアント要件の満足が保証されるように、ICTシステムの試験要件を指定する。	
規格および規則への準拠ならびにプロジェクト範囲に応じたクライアント要件の満足が保証されるように、ICTの延焼防止および貫通部(Sound Transmission Class [STC] ratings)の要件を指定する。	
ICT入札プロセスのサポート	9%
入札希望者に明確な指示を与えるために必要な設計に基づいてプロジェクト利害関係者向けにICTの提案依頼書（RFP）または見積依頼書（RFQ）を作成する。	
設計意図および契約要求事項を満たす方法に関する明確な回答を示すために必要な設計およびその他の利害関係者の要件に基づいてICTの提案依頼書（RFP）または見積依頼書（RFQ）に応答する。	
他のプロジェクト利害関係者に設計意図または設置に関する懸念事項のさらなる明確化を求めるために、ICTの情報提供依頼書（RFI）を作成する。	
他のプロジェクト利害関係者によって提起された設計意図または設置に関する懸念事項をさらに明確化するために、ICTの情報提供依頼書（RFI）に応答する。	
提案提供依頼書（RFP）への回答が完全であるか、設計に準拠しているかを確認するためにICTの入札内容を審査する。	
必要に応じて追加の入札活動（入札者の会議、打ち合わせ、現地調査など）に参加する。	
ICT施工プロセスのサポート	15%
定義されている施工文書が利害関係者との調整を経ており、作業可能であり、成果物が契約に準拠していることが保証されるように、ICTの提出物（製品提出物、製作図など）を作成し、承認を求める。	
必要に応じて、設計基準に基づいて承認、拒否またはコメントを行うために、ICTの提出物（製品提出物、製作図など）を確認する。	
拒否またはコメントに基づいてICTの提出物を修正する。	
資材と提出物の一致が保証されるように、ICT資材の調達に参加する。	
システム間の相互依存性を確保し、施工業者間の干渉を回避するために、ICTの設置を他者（電力事業者、管轄当局 [AHJ] など）との間で調整する。	
問題の所在に関する指示を施工業者に与えるために、現地説明/現場調査を実行する。	
規格および規則への準拠、設計意図ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICTの継続的な検査を実施する。	
規格および規則への準拠、設計意図ならびにクライアント要件の満足が保証されるように、ICTの最終検査を実施する。	
設置の記録文書を提供するために、プロジェクトオーナー向けのICT施工完了文書を作成する。	
ICT施工完了文書が正確で完全であることが保証されるように、プロジェクトオーナーと共にICT施工完了文書を確認する。	

資格の取得に必要な知識とスキル

ICT設計の範囲の定義

調整スキル

交渉スキル

時間管理スキル

予算管理スキル

配線経路およびスペースの設計（室内設計など）に影響を及ぼす障害物を特定するスキル

見積もりに関する一般知識

責任とリスクに関する一般知識

適用されるすべての規則および規格（現地、建物、国家、連邦政府など）に関する知識

ICTソリューションの定義

データネットワーキングとクラウドコンピューティングの原理に関する知識

電話システムとその原理に関する知識

モバイルコンピューティングとワイヤレスコンピューティング（Wi-Fiなど）の原理に関する知識

クライアント環境（連邦政府、商業、住宅、工業、医療など）に関する知識

テレビシステム（CATV、マスターアンテナテレビシステム [MATV]、インターネットプロトコル [IP] など）およびその原理に関する知識

AVシステムとその原理に関する知識

電子的なセキュリティと安全に関する知識

ページングシステムとサウンドマスキングに関する知識

設計図面と仕様書（Construction Specifications Institute [CSI] Master Formatなど）に関する知識

建築設計プロセス（基本設計 [SD]、詳細開発 [DD]、実施設計文書の作成 [CD] など）に関する知識

コンピューターソフトウェア（Office、Revit MicroStation、AutoCADなど）に関する知識

業界固有および現在使用されている製品に関する知識

災害復旧（DR）および事業継続性（BC）に関する知識

コンバージドシステムが構造化ケーブルリングシステム（SCS）に与える影響に関する知識

仮想化（サーバー、ネットワークなど）が構造化ケーブルリングシステム（SCS）に与える影響に関する知識

電磁干渉と電磁両立性に関する知識

物理セキュリティの概念に関する知識

統合ビルテクノロジー（IBT）に関する知識

FTTx (fiber to the x)に関する知識

様々なメディアタイプ（メタル、光ファイバー、ワイヤレスなど）とコンバーターに関する知識

伝送の原理と伝送に関連する電子機器に関する知識

分散型アンテナシステム（DAS）に関する知識

システムインテグレーションに関する知識

POE (Power over Ethernet)、POE+、POE++の各テクノロジーに関する知識

建物自動化システムに関する知識

電気の原理に関する知識

暖房・換気および空調（HVAC）の原理に関する知識

配線経路およびスペース（種類、サイズ、使用できる場所など）に関する知識

パッシブ光ネットワークに関する知識

消火と火災検知に関する知識

ICT入札プロセスのサポート
プレゼンテーションのスキル
書面によるコミュニケーションのスキル（メール、レポート、仕様書の作成、テクニカルライティングなど）
口頭コミュニケーションのスキル
契約に関する法的知識（契約の種類および義務など）
電気用語の知識
建築用語の知識
空調用語の知識
構造用語の知識
土木工学用語の知識（屋外配線設備など）
ICT設置プロセスのサポート
問題解決スキル
コラボレーションスキル
他の分野（電気、建築など）の設計を確認するスキル
サービスプロバイダーとの調整スキル
プロジェクト管理に関する基本知識

試験の著作権

すべての試験問題は著作権で保護されたBICSIの知的財産です。試験問題のすべてまたは一部の複製を試みることは、法律で禁止されています。そのような試みには、試験会場から資料を持ち出すこと、試験問題の一部を他人が何らかの方法で再現することを補助すること、試験問題の一部を販売、配布、受領、または不法所持することが含まれますが、それらに限定されません。著作権違反の疑いは調査され、疑いが正当であれば、違反者は法律を最大限に適用して起訴されます。このような違反の疑いがある場合は、試験の得点が無効になる可能性があることにも留意してください。

推奨される学習法

ICTの経験や学歴は人によって異なるため、受験者はそれぞれ異なる知識基盤を持って試験に臨みます。したがって、受験者の経験等によって学習方法は異なります。RCDD試験の概要に示す各領域と以下の推奨資料について学習することが最善の方法です。

経験年数2～5年	経験年数5年以上
<ul style="list-style-type: none"> DD101（またはthe pre-assessment）：<i>Best Practices for Telecommunications Distribution Design</i> (BICSI CONNECT online course) 	<ul style="list-style-type: none"> DD101（またはthe pre-assessment）：<i>Best Practices for Telecommunications Distribution Design</i> (BICSI CONNECT online course)
<ul style="list-style-type: none"> DD102:<i>Applied Best Practices for Telecommunications Distribution Design</i> 	<ul style="list-style-type: none"> DD102：<i>Applied Best Practices for Telecommunications Distribution Design</i>
<ul style="list-style-type: none"> 150時間以上のTDMMの学習時間 	<ul style="list-style-type: none"> 125時間以上のTDMMの学習時間
<ul style="list-style-type: none"> BICSI TDMM flash cards 	<ul style="list-style-type: none"> BICSI TDMM flash cards
<ul style="list-style-type: none"> BICSI RCDD Test Preparation Course (BICSI CONNECT online course) 	<ul style="list-style-type: none"> BICSI RCDD Test Preparation Course (BICSI CONNECT online course)

試験の形態

試験問題数 100
 試験時間..... 2.5時間

試験問題には、選択式（複数選択、選択穴埋め）を含む100問です。問題の回答選択肢の数は3～5です。

フェーズ3：申請

申請プロセス

以下の項目を記入し、BICSI米国本部ウェブサイトのUser ProfileページよりBICSI本部に提出してください。

- 必要事項をすべて記入したオンラインRCDD受験申請書
- 最新の経歴書
- 該当する場合は、学位、卒業証書または認定書のコピー

ICTの経験は確認、検証されます。BICSIは、申請者の経験を検証するプロセスにおいて、追加の提出物をその証明として申請者に要求する権利を有します。この追加要件が満たされない場合、申請は却下されます。

申請の手続き

BICSIは受験申請書を受領した順に手続きします。申請の際は受験申請料を支払う必要があります。受験申請料は返金されません。

承認には30日を要します。予めご了承ください。

料金	金額*	備考
受験申請料 (BICSIへ支払い)	510米ドル - BICSI会員 725米ドル - 非会員	<p>料金には以下が含まれます。 受験申請書の受付、初回受験料、Pearson VUEへの登録とPearson VUEの試験会場での受験、不合格時の試験得点の通知、合格時のRCDD認定証と徽章の送付</p> <p>以下は料金に含まれません。 教材費、受験対策講座の授業料、学習支援費、テストセンターへの往復交通費または再受験料</p>
再受験料 (Pearson VUEへ支払い)	230米ドル - BICSI会員 355米ドル - 非会員	この料金は、不合格の場合にPearson VUEの試験会場で再受験する際に適用されます。

*価格は予告なく変更される場合があります。

支払い方法

支払いの種類	送金方法
クレジットカード	BICSI本部ウェブサイトからのオンライン決済または電話
小切手または郵便為替	BICSI本部に郵送
電信送金	電信送金の詳細については、 credentialing@bicsi.org にメールでお問い合わせください。

申請の不備

必要な情報が不足している状態で受験申請をした場合には、不足している情報と、その情報をいつまでに提出しなければならないかを記載したメールが本人宛に送信されます。不足している情報を指定期日までに提出しない場合、申請は不備と見なされ、受理されません。受験申請料は返金できません。

申請の却下

以下のいずれかの理由がある場合は、申請が承認されず、受験資格が認められない場合があります。

- 最低限の資格要件を満たしていない場合
- 申請に不備がある場合
- 申請書類に記載された情報が改ざんされている場合
- 申請書類に記載された実務経験などの情報に虚偽があった場合
- その他定める事項に違反があった場合

返金方針

受験者が不合格だった場合も含めて、受験申請料の返金または転用はできません。

氏名

申請書には、有効期限内の公的な身分証明書に記載されている氏名を記入してください。記入された氏名は、試験日に試験会場で受験者の本人確認に使用し、また、試験に合格時に発行される資格者証に記載されます。

受験資格有効期間

受験申請は、申請の承認日から1年間有効です。この受験資格有効期間は、受験者の受験許可書に記載されません。

待機期間

受験資格有効期間中（申請承認日から1年間）は、不合格後30日間は、待機期間のため、再受験はできません。3回不合格となった場合、90日間は再受験ができません。受験資格有効期間中であれば、90日間の待機期間経過後に追加の受験機会が与えられる場合があります。

再試験の受験には、毎回再受験料を支払う必要があります。受験資格有効期間中に試験に合格できなかった場合は、新しい申請書を提出して、受験を再申請することができます。

遵守事項

受験時および資格取得後は以下の事項に同意する必要があります。

- 私は、資格を継続して保有する能力に影響を及ぼす可能性が生じた場合は、遅滞なくBICSIに連絡することに同意します。
- 資格が停止された場合、私は、停止中の認定資格の使用と公表を停止します。
- 資格が失効または取り消された場合、私は、その取扱いに対して一切の言及を行いません。
- 私は、資格が認められた範囲についてのみ資格を根拠に主張を行います。
- 私は、BICSIの評判を落とすような方法で資格を使用しません。また、誤解を招く、あるいは許可されていないとBICSIが見なした資格に関する発言を行いません。
- 私は、誤解を招くような方法で資格による地位または資格を使用しません。
- 私は、機密である試験内容および試験資料の提供、受領、または公表（手段および目的を問わず、試験情報の記録、複写、開示、共有、公開または伝達を含むが、それらに限定されない）を行わないこと、または受験の不正行為に参加しません。

フェーズ4：試験

特別な配慮に対する要望

BICSIのRegistration & Credentials Supervision Committee(RCSC)は、Americans with Disabilities Act (ADA) を遵守し、ADAで定義されている障害を理由として、いかなる個人もBICSI試験を受験する機会を奪われないことを保証します。障害を持つ受験者は、要望書および最近（過去3年以内）の障害に関する証明書類を提出する必要があります。要望書と証明書類は、少なくとも試験の30暦日前までにBICSIに到着しなければなりません。特別な受験の配慮に対する要望には、受験者の診断・治療を行った、資格のある専門家による正式な診断書類が必要です。

特別な配慮に対する要望の却下への異議申し立て

特別な配慮に対する要望の却下に対して受験者は、BICSIのRCSCに異議を申し立てることができます。RCSCによる決定が最終決定となります。Credentialing@bicsi.org - Attn: RCSC Appeal.

予定の立て方

BICSIはPearson VUEと提携して、RCDD試験をコンピューターベースの試験形式により実施します。悪天候、技術的な問題、またはその他の予定外の事象によって試験会場が利用できなくなった場合、Pearson VUEから受験者に通知されます。

受験申請が承認されると、承認されたことを確認するメールでBICSI受験許可書が受験者に送付されます。受験許可書には、受験者のID、初回受験料の領収書および受験日の設定に関するが記載されています。

申請が承認後されたら、速やかに受験日を予約することをお勧めします。予約を早めに行うことで、希望の日時、会場を確保しやすくなります。

試験の予約に際し、以下の情報を予めご用意ください。

- 有効期限内の公的な身分証明書に記載されている氏名
- 受験者ID番号
- 試験主催者の名称（BICSI）
- 受験が承認された試験（RCDD-003）
- 希望の日時と会場
- 初回受験料の領収書

オンラインで予約するには、pearsonvue.com/bicsiにアクセスし、「create an account」をクリックするか、既にPearson VUEのアカウントを持っている場合は「sign in」をクリックしてください。

電話で予約することもできます。米国の場合は、888-602-6941に電話してください。米国以外からの国際電話番号はこれと異なる場合があります。

必要に応じて、Pearson VUEのウェブサイトで電話番号を確認してください。

予約の変更またはキャンセルに関するポリシー

予約の変更またはキャンセルをしたい場合は、予約した受験日の2営業日前までにPearson VUEに連絡してください。予約した受験日の1営業日前および当日以降に予約を変更またはキャンセルした場合は、受験料が返金されない場合があります。

受験料

初回の受験料は申請料に含まれており、BICSIIに直接支払われます。初回の受験料には、Pearson VUEへの登録とPearson VUEの試験会場での受験および不合格時の試験成績表が含まれています。

再受験時は、Pearson VUEに再受験料を直接お支払いください。

受験者の身分証明書と注意事項

RCDD資格試験は、セキュリティの高いテストセンターで実施されます。すべての受験者は、運転免許証、パスポート、軍人身分証明書など、有効期限内、公的な身分証明書の原本によって身分を証明する必要があります。（詳細はPearson VUEウェブサイトをご覧ください。）一つめの身分証明書と二つめの身分証明書の名前と写真は、受験者の受験許可書に記載されたものと完全に一致していなければなりません。

受験者は二つめの身分証明書も提示する必要があります。二つめの身分証明書としては、以下が認められます。

- 有効な社員証
- 有効な署名入りのクレジットカード
- 有効な写真付き銀行カード

提示する身分証明書の氏名として認められるもの

申請書の氏名	身分証明書の氏名	受験の可否
Mohammed Saeed	Saeed Mohammed	可
Christine Reynolds	Christine White	否
William Rice	Bill Rice	可
T.J. Coleman	Thomas J Coleman	可
Tanya L. Sullivan	Tanya Lee Sullivan	可

Pearson VUEテストセンターでは、研修を受けた試験監督が監督を務めます。試験監督が不正行為を目撃した場合または疑った場合、あるいは回答の統計分析によって試験後に不正行為が判明した場合は、受験者は退場を命じられたり、受験者の得点が無効になったりすることがあります。不正行為には、妨害行為、他の受験者との不正な情報のやり取り、他の受験者への助言または他の受験者からの助言、試験会場からの資料の持ち出しが含まれますが、これらに限定されません。BICSIIは違法行為または不正行為の事象を調査する権利を有します。

受験者は、コンピューターとマウスを使えなくてはなりません。

受験者は、いかなる持ち物（携帯電話、時計、帽子など）も試験会場に持ち込むことができません。電卓およびメモ用紙代わりにホワイトボードなど、試験中に必要な物はすべて用意されています。

試験中の休憩時間は設けられていません。休憩をした場合の時間は試験の制限時間である2時間30分に含まれます。

守秘義務

すべての試験問題は著作権で保護されたBICSIの知的財産です。

いかなる手段によっても、試験問題のすべてまたは一部を複製、複製、記録、配布、表示または共有することは連邦著作権法によって禁止されています。

資格に合格すると、BICSIの刊行物に氏名が記載されます。氏名の記載を希望しない場合は、速やかにBICSIに連絡してください。試験結果（合否）は機密情報として扱われ、有効かつ合法的な召喚状または裁判所命令による指示がない限り、受験者の同意なしに他人に開示されることはありません。

RCDD試験の受験申請書の提出をもって、受験希望者はBICSIの遵守事項（本ハンドブックの16ページ参照）に従うことに同意したものとみなされますこの遵守事項は、特に受験後の試験問題の取り扱いについて規定しています。規約には「*…私は、機密である試験内容および試験資料の提供、受領、または公表（手段および目的を問わず、試験情報の記録、複製、開示、共有、公開または伝達を含むが、それらに限定されない）を行わないこと、または受験の不正行為に参加しません。*」という項目があります。

上記に規定する行動は、BICSIの遵守事項を逸脱する可能性があり、取得した資格の取り消し、またはあらゆるBICSIの資格試験の受験を恒久的に差し止める等の処置がとられる場合があります。

合格点

RCDD試験は、受験者にICT業界で成功するために必要な優れた能力と深い知識が備わっていることを確認することを目的としています。RCDD試験の合格点は、適切な計量心理学的分析によって決定されます。合格点は、基準設定と呼ばれるプロセスを経て決まります。基準設定では、現在RCDD資格を持っているICT分野の選ばれた専門家から構成される評議会が試験の内容を体系的に評価します。評議会は認定資格の必要条件について議論し、資格保有者が職務で成功するために必要な知識レベルを判断します。評議会の専門的な判断は、資格試験業界で一般に使用されている統計的なアンゴフ法を使用し、特定の合格点に変換されます。

受験者のRCDD試験の成績は、このあらかじめ定められた基準に基づいて測定されます。個々の受験者の成績が他の受験者の成績を基準にして測定されることはありません。

結果

試験の終了後、合格した受験者には、直ちに合格通知が試験会場で渡されます。不合格だった受験者には、成績表が渡されます。成績表では、試験で出題された各領域において受験者の正答割合を表します。これは実際の得点ではありません。各領域の問題数に応じて各領域には異なる重み付けが行われます。領域によっては問題数が少なかったり多かったりすることがあります。これは、重要性の高い領域からの出題を増やすための措置です。

試験に合格した受験者には、公式の合格通知書、資格認定証、徽章が送られます。

合格通知書には、受験者がRCDD資格を取得できたことと、RCDDのロゴとデジタルスタンプの入手方法が記載されています。資格認定証と徽章は、試験の4～6週間後に発送されます。住所が米国外である場合は、資格認定証等が届くまでに8～10週間を要します。

再受験申請

不合格の場合は、30日間の待機期間が設けられます。3回不合格となった場合、90日間は再受験ができません。受験資格有効期間中であれば、90日間の待機期間経過後に追加の受験機会が与えられる場合があります。

再試験の受験には、毎回再受験料を支払う必要があります。

受験資格有効期間中に試験に合格できなかった場合は、新しい申請書を提出して、受験を再申請することができます。

試験問題へのコメント

試験の特定の問題についてコメントし、それに対してRCSCによる審査を希望する場合は、コメント機能を使用して試験中にコメントを作成することができます。受験者のコメントにより、RCSCが採点のやり直しを決定し、受験者の最終結果が不合格から合格へ変更となった場合、BICSIのCredentialing Departmentは試験後30日以内にメールで受験者にその旨を通知します。問題へのコメントに費やされた時間は、試験の制限時間である2時間30分に含まれ、試験中に作成されたコメントのみが審査されます。

フェーズ5：資格の更新

ステータス	定義
アクティブ	資格が有効な状態
猶予期間	資格の有効期限から、90日が経過するまでの期間
非アクティブ 停止期間	90日の猶予期間後、その資格の有効期限後1年が経過するまでの期間
失効	資格の有効期限から1年以上が経過した状態
資格の回復	RCSCは、通常の資格更新時および資格停止期間中に更新が非常に困難であることを示す根拠となる書類が提出された場合は、内容を確認し、特別措置の可否を審議します。
再試験	資格の有効期限から1年以上が経過しており、資格の回復が承認されていない状態。

RCDD資格登録期間

RCDD資格は3暦年にわたって有効であり、有効期間満了日は12月31日です。

資格の有効期間は、試験に合格した月に関係なく、合格した暦年の残りの日数に3年間を加えた期間です。たとえば、2017年9月20日にRCDD資格を取得した場合の資格の有効期間満了日は2020年12月31日です。

更新要件

資格の更新は、あらゆる評価の高い資格プログラムにおいて重要であり、試験に合格後に資格を維持するために必要な手続きです。資格更新により、RCDD資格の有効性と信頼性が保証されます。BICSIは学習を生涯にわたる努力と考えており、資格保有者のRCDDの地位を維持する努力の一環として継続教育を重視しています。

RCDDには、資格更新のためのすべての要件および条件を満たし、資格有効期間が終了する前に確実に関連書類をBICSIに提出する責任があります。BICSIは資格更新のご案内をいたしますが、continuing education credits (CEC) および資格更新プロセスのその他の要件の追跡・記録の最終的な責任は資格保有者にあります。

すべてのRCDD資格保有者は、試験に合格してから3年間の資格有効期間中に少なくとも**45CEC**と**1カンファレンスクレジット**を資格更新のために取得しなければなりません。資格有効期限までに資格更新がなされない場合、RCDD資格の使用および公表ができなくなります。

更新料	価格*	詳細
更新料 (オンライン)	200米ドル - BICSI会員 325米ドル - 非会員	この料金は更新手続きに必要となります。 更新申請書をオンラインで提出する際に併せて支払いを行う必要があります。
更新料 (書面)	230米ドル - BICSI会員 355米ドル - 非会員	この料金は更新手続きに必要となります。 更新申請書を提出する際に、併せて支払いを行う必要があります。
更新遅延料金 (91～120日)	175米ドル	この料金は、資格有効期限の91～120日後に提出される更新申請に適用されます。
更新遅延料金 (121～364日)	300米ドル	この料金は、資格有効期限の121～364日後に提出される更新申請に適用されます。
資格の回復手数料	300米ドル	この料金は資格の回復を申請する際に適用されます。
認定書の再発行手数料	25米ドル - BICSI会員 35米ドル - 非会員	この料金は認定書の再発行申請に適用されます。

*価格は予告なく変更される場合があります。



資格更新の監査

RCSCは資格更新監査のポリシーに従います。CECの根拠書類は、資格保有者が資格を更新してから30日以内に無作為に監査の対象となります。

すべての資格保有者が監査の対象となります

資格認定機関であるBICSIのRCSCは、資格プログラムの品質と完全性を守るために資格の適正な維持を求めています。高度な職業的能力と専門的能力に必要な知識とスキルは時代と共に変化します。この適正な管理のプロセスは、資格保有者が各自の分野の最新情報を常に把握するよう促し、公衆、雇用者、その他の利害関係者からの信頼を高めます。

BICSIのRCSCは、資格の更新要件を遵守し、bicsi.org/cecで実施されているContinuing Education Credit (CEC)プログラムによって資格の適正な管理を行うことをBICSI資格保有者に求めています。

BICSI資格保有者は、Continuing Education Credit (CEC)プログラムおよび監査プロセスの条件の遵守を含むBICSIの資格プログラムの方針、プロセスと手続きに合意しています。これは、資格保有者がすべてのCECの関係書類を確認し、これらの方針と手続きに従って行動していることを意味します。

資格更新監査は、ICT（情報通信技術）のケーブルインフラストラクチャーおよび設計の分野で常に最新情報を把握するために必要な知識とスキルの維持を目的として、資格保有者が最低限の基準を満たしていることを保証する手段として機能しています。

監査プロセスを円滑に進めるために、関係書類を添えて、CECの申請を速やかに行ってください。監査の無作為な対象になる場合に備えて、資格更新後6か月間は、関係書類のコピーを保管してください。





RCDD資格の取得後

称号の使用

BICSIの定める認定基準を満たし、資格を保有している方は、RCDDスタンプを含むRCDDの称号の使用が許可されます。

RCDDの称号をあなたのプロフィールに追加すると、資格保有者の実績とその努力が広く認められます。資格保有者は保有する資格を名刺、履歴書、個人のウェブページ、記事やブログ記事の著者欄、メールの署名などに記載することができます。

RCDDスタンプ

必要に応じてRCDDスタンプを使用することをお勧めします。「How to Use your Stamp/Logo」の全文は、[ここをクリックしてご覧ください](#)。デジタル方式のRCDDスタンプは、無料で作成できます。ご希望の方は、credentialing@bicsi.orgへご連絡ください。インク浸透印の購入を希望される方は、RS Rubber Stamps & Engraving*よりお申込みください。注文書は、資格保有者のBICSI Profileのcredential dashboardにあります。

*注文時に資格者証のコピーを添付する必要があります。

有資格者名の公表

資格保有者の氏名は機密情報として扱われず、BICSIにより公表される可能性があります。公表される情報には、氏名、都市名、州名、国名、組織名が含まれる場合があります。すべてのRCDD資格保有者の氏名は、都市名、州名、国名を指定して検索できるBICSIの公開データベースに自動的に登録されます。このデータベースはbicsi.org/verifyからオンラインで検索できます。

記録の保持

BICSIにおける書類保管期限は2年間です。資格保有者は、BICSIに送付したすべての書類のコピーを必ず保管してください。

資格者証の額縁

BICSIの資格者証専用の高品質な額縁を注文できます。framingsuccess.comにアクセスして、検索欄に「BICSI」と入力してください。



資格停止ポリシー

停止期間は、認定資格を失うことなく、有効期限が満了した資格の更新要件を満たす機会を与えることを目的としています。有効期限が満了した資格は、以下の定義に従って、すべての更新要件が満たされるまで停止されます。

停止措置は、有効期限満了日の90日後に自動的に適用されます。

資格保有者は有効期限の満了と停止期間の通知を受け取ります。停止期間は、資格の当初の有効期限から1年後に終了します。

停止期間が、当初の資格更新日や資格の有効期限に影響を与えることはありません。

BICSIのウェブサイトには、停止期間中であっても有資格者であると表示されます。本人以外（顧客または雇用者等）からの停止期間の証明の要求に対しては、資格保有者が自分のBICSI profileにログインして資格のステータスを確認することができます。

停止ポリシーの全文および停止条件は、以下のBICSIウェブサイトに掲載されています。

bicsi.org/recertify

資格の回復に関するポリシー

失効した資格の回復は、特定事情と状況により認められます。資格の回復の対象となるのは、資格の最初の有効期限満了日から2期以内のすべての資格保有者です。資格を回復するための手続きは以下の通りです。

オプション1

- ・再試験

オプション2

- ・失効期間中にもRCDDに必要な学習を行ったことを示す証明書類の提出
 - 失効期間中に受講したICT研修の一覧
- ・DD102のトレーニングの受講と修了
- ・資格の回復手数料

資格の回復：このポリシーに記載されている要件が満たされるまでは資格は失効の状態のままとなります。失効した資格の保有者は、失効した資格を救済措置によって回復する機会が1回だけ認められます。回復した資格が再び失効した場合は、再試験を受けて資格を取得する必要があります。

ポリシーおよび規定

倫理規定と職務上の義務

BICSIは、倫理委員会、倫理規定、および倫理規定を強化するための職務上の義務の一覧を定めています。倫理規定は以下の通りです。BICSIの会員および資格保有者がICT（情報通信技術）業界に関連する製品やサービスの提供、およびBICSIとBICSIの主催するイベントに関連する職業上の活動において、倫理的かつ職業上の最高の行動規範を示すことが重要です。

以下に示す職務上の義務は、会員および資格保有者が倫理規定を理解するためのガイドラインとして機能します。これらの職務上の義務を果たすことによって、BICSIの会員および資格保有者の誠実性とサービスに対する信頼が高まります。

12の職務上の義務を果たすことが義務付けられています。

BICSI会員およびBICSI資格保有者として、私はBICSI、ICT業界およびICT業界の消費者に対して倫理的かつ職業上の義務を負っています。したがって、私は以下のことを誓います。

1. 高水準の職業上の行動を継続すること。
2. 私の行動を通じて、BICSIの組織、資格プログラム、保有するすべての資格の評判を守り、高めること。
3. 自分のBICSI資格を偽らないこと、または他人に資格の名義を貸与しないこと
4. 関連するすべての規則、法令、ICT業界の標準規格、BICSIの手法を遵守すること。
5. 年齢、人種、国籍、肌の色、性別、性的指向、障害の有無、宗教的信条にかかわらず、すべての人々に公平に奉仕し、水準に満たないサービスを提供しないこと。
6. 他人の資格、能力、業績を故意に不正確に伝える行為、または偽って述べる行為を慎むこと。
7. 競争力のあるサービスの選択に関するクライアントの決定を尊重し、要求された場合は、そのクライアントに質の高いサービスを提供し続けること。
8. 適用されるすべての法律および契約に従って、私の職業または役職上知り得た情報の機密性を保つこと。
9. クライアントへの対応において正確と誠実を心がけ、私が提供するサービスの品質、可用性または能力を偽らないこと。
10. すべての技術資料の提示または注文および在庫に関する業務において、正確、正直、誠実を心がけること。
11. 私の業務の遂行中に発見される可能性のある、すべての安全上および運用上の欠陥について、偏りのない正確で客観的な評価を提供すること。
12. 他人の名誉を傷つけたり、他人の身体や財産に危害を加えたりする可能性がある発言、誤解を招く発言、悪意のある行動を慎むこと。

ポリシーおよび規定

BICSIの資格に関する異議申し立てプロセス

書面による異議申し立ては、対象の通知の日付から14暦日以内にBICSIのRCSC Staff Liaison宛てに送付してください。

BICSI
Attn: RCSC Staff Liaison
8610 Hidden River Parkway
Tampa, FL 33637
credentialing@bicsi.org

Staff Liaisonは、異議申し立てを受領後、その内容をRCSC Appeals Panelに伝達します。Staff Liaisonは、関連データと証明書類の一式を用意し、7暦日以内にRCSC Appeals Panelに送付します。

RCSC Appeals Panelは、最初の異議申立ての受領後、30暦日以内に決定を下します。異議申し立ての審査中に委員会の委員に利益相反が生じた場合、その委員は審議への参加を辞退しなければならず、その委員の代わりに代替委員が任命されます。

RCSC Appeals Panel

RCSC Appeals Panelの目的は、拒否された資格の回復、資格試験の申請または受験の拒否の事実関係を審査し、当初の判断が同様の状況、事情、および条件と矛盾していないかどうかを審議することです。

RCSC Appeals Panelには3つの選択肢があります。

- 当初の判断を支持すること。
- 新たな情報に基づくさらなる審査を受けて当初の判断を修正すること。
- 異議を却下すること。

RCSC Appeals Panelが決定を下すと、Staff Liaisonは異議申立者に決定書を送付します。決定書のコピーは、本人のファイルに永久に保存されます。

独占禁止法に関するBICSIの声明

BICSIは競争原理を強く信奉しています。米国の独占禁止法は、競争システムを機能させるためのルールです。独占禁止法をあらゆる面で遵守することがBICSIの方針です。

BICSIの会議やイベントでは、その性質上、競合会社が集まります。そのため、デリケートな話題を避ける必要があります。価格協定を行うこと、市場を割り当てること、製品の排斥に参加すること、および第三者との取引を拒否することの合意は、自動的に独占禁止法上の違法行為となります。合意の理由が何であるかは問われません。

したがって、BICSIの会議等では、価格（値引きおよび支払い条件などの価格要素を含む）の話し合い、供給業者の品質評価、および競合他社が特定の供給業者からの購入または特定の顧客への販売をやめる原因となり得るような議論は避けなければなりません。また、商圈の分割と解釈される可能性がある議論を避けなければなりません。

独占禁止法違反は、正式な合意の証明を必要としません。価格などのデリケートな話題の議論と、それに続く関係者またはその場にいた人による行動は、価格協定の陰謀があったことを示す十分な証拠になります。したがって、BICSI主催の会議の出席者は、違法行為だけでなく、違法行為に見える可能性のある行為も避けることが重要であることを認識すべきです。



©Copyright BICSI, 2020年5月、転載禁止
BICSIおよびRCDDはBICSI, Inc.の登録商標です。
RCDD Certification Handbookおよびその内容は
BICSIの知的財産です。

詳しい情報については

bicsi.org/credentialing
を参照してください

問い合わせ先：

米国本部

TEL：+1 813-979-1991または
800-242-7405

E-mail：credentialing@bicsi.org

日本支部

TEL：03- 3524-8488

E-mail：credential@bicsi.jp